

支所のあり方検討の論点整理

第2回委員会の意見等をもとに整理。太字は、委員からの意見によるもの。

	現状分析の論点	課題検討の論点	その他
(1) 組織関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織のスリム化 ・ 事務の効率化 ・ 支所権限 など 	<p>嘱託・臨時まで含めた職員数は減っているのか。</p> <p>職員減は臨時・嘱託の負担増になっていないか。</p> <p>本庁の職員は増えているのでは。類似団体と比較するとどのようになっているか。(面積, 学校数などの違いをどう比較するか) 支所の活動や権限はどのようになっているか</p>	<p>限られた資源の中で, 本庁・支所のウェイトをどのようにするか。(職員数, 権限)</p> <p>分庁方式も検討すべきでは</p> <p>本庁・支所の垣根をどう解消するのか。</p>	
(2) 市民との関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス提供 ・ 距離感 	<p>支所の職員が減ってサービスに影響はないか。</p> <p>要件・性質別に検討すべき</p> <p>支所で完結できない業務があるのでは。</p>	<p>地域が寂れず 合併して良かったと思われるにはどうすべきか。</p> <p>全市民が同じサービスを受けられるべき</p> <p>支所の職員が減ることは 地域が寂れることにつながるのか。</p>	
(3) 地区コミとの関係	<p>地区コミの活動は定着してきているか。</p> <p>地区コミと市民・自治会の関係はどう変化しているか。</p> <p>市と地区コミの連携はうまくいっているか。</p>	<p>地区コミの活動を支援する体制はこのままでよいか。</p> <p>地区コミへ市からの権限・事務の移譲が必要か</p>	
(4) その他		<p>地域の存続のためには若者を対象とした定住対策が必要では</p>	